

平成30年度 築川地区まちづくり懇談会 懇談事項

平成30年6月26日(火)

地区	No.	懇談事項	説明	担当部課名
築川	1	<p>築川ダムと新区界トンネルの完成に合わせた、周辺環境整備と「道の駅」設置について</p> <p>築川ダム及び新区界トンネルの竣工が間近に迫ってきている。壮大なダムと築川・根田茂川の清流、そして四季折々の新緑と紅葉等、雄大な自然景観は地域観光資源として発信する価値は大いにある。</p> <p>そこで、ダムの完成に合わせて、森林浴散策コースや憩いの広場等を整備し、市民が気軽に訪れ、くつろげるスペースを整備する必要がある。</p> <p>また、新区界トンネルが開通し、国道106号復興道路が完成することにより、東北自動車道盛岡南インターよりアクセスし宮古方面に向かうと、宮古市川井のやまびこ館までトイレ休憩所がなくなる。</p> <p>そこで、ダム周辺の環境整備と併せて「道の駅」設置についても関係機関に働きかけて頂きたい。</p> <p>盛岡東部開発の好機ととらえ、産直等で地元農産物の販売や情報発信施設として、地域振興が図られるよう組織体制作りを検討して頂きたい。</p> <p>(川目上躍進会・築川自治振興会)</p>	<p>築川ダムの建設に伴い、これまで、林道の開設や改良を行っているほか、コミュニティ消防センターの整備を行うなど、周辺の環境整備を行ってきたところであります。</p> <p>平成32年のダム完成を控え、周辺の環境整備などについて、地元まちづくり検討委員会などと意見交換を行っておりますが、県の築川ダム建設事務所とは、県道脇にある「アヤマ園」の駐車場を拡張するなど、地元住民の憩いの場として簡易な休息施設を整備できないか、相談しているところです。</p> <p>また、築川ダム周辺は貴重な自然が豊かに残っているものと存じており、散策コース整備の可能性について調査してまいります。</p> <p>道の駅については、現時点では設置の計画はありませんが、周辺の産直施設などの利用状況なども参考としながら、国土交通省など、関係機関から道の駅設置の可能性などについて、御意見を伺ってまいりたいと存じます。</p> <p>築川地区の地域振興につきましては、様々な意見や可能性のあるものと存じますので、引き続き、地元まちづくり検討委員会をはじめ、地元の皆様と意見交換させていただきたいと存じます。</p>	<p>市長公室 企画調整課</p> <p>環境部 環境企画課</p>

平成30年度 築川地区まちづくり懇談会 懇談事項

平成30年6月26日(火)

地区	No.	懇談事項	説明	担当部課名
築川	2	<p>シカによる農作物被害対策と、駆除した獣肉(ジビエ)の活用方策について</p> <p>築川地区の中山間地域では、野生鳥獣が多く生息しており、近年、特にニホンジカが増えてきて、農作物被害が深刻な状況にある。さらに、住民の高齢化が進行し、耕作放棄地が目立ちシカが増える要因にもなっている。そこで、農家が安心して農産物を生産できるように、持続的で効果的な駆除対策を検討頂きたい。</p> <p>また、シカ肉はヘルシーな赤肉として注目され、健康食材としての価値がある。駆除したシカ肉(ジビエ)を有効に活用するための食肉処理施設等を整備し、食肉として流通する一貫体制の構築も併せて検討願う。</p> <p>(宇曾沢会)</p>	<p>ニホンジカ等の有害鳥獣対策につきましては、平成29年度から、有害鳥獣の捕獲活動を行う「鳥獣被害対策実施隊」を45人から70人に増員し、体制の強化を図っておりますほか、狩猟免許の取得に対する補助制度を創設し、新規狩猟者の発掘に努めております。</p> <p>被害防除対策として、平成29年度は、8月に根田茂・砂子沢地域において農作物の被害状況や電気柵の補助制度の説明会を実施したほか、2月には鳥獣被害防止対策の研修会を開催したところであり、また、整備事業としまして、砂子沢地区に2,600メートルの電気柵を設置したところです。</p> <p>30年度は、鳥獣被害防止対策の研修会を引き続き実施するほか、根田茂地区に2,000メートルの電気柵の設置を予定しておりますことから、このような対策を講じることで被害防止に努めてまいりたいと存じます。</p> <p>シカ肉の有効活用につきましては、平成24年7月に、国から岩手県の全域を対象としたシカ肉の出荷制限の指示があり、その後も基準値を超過する放射性物質が検出される検体もあることから出荷できない状態が続き、出荷制限の解除見通しは立っていない状況です。</p> <p>このため、岩手県においては全国知事会を通じて現実的な解除要件の要望を行っていることから、本市としましても、機会を捉えて、シカ肉流通自主規制の一部解除について、岩手県等に引き続き要望してまいりたいと存じます。</p>	農林部 農政課

平成30年度 築川地区まちづくり懇談会 懇談事項

平成30年6月26日(火)

地区	No.	懇談事項	説明	担当部課名
築川	3	<p>遊休施設や耕作放棄地等を活用したファームステイ(農家民泊)の可能性について</p> <p>川目小学校が閉校し2年が経ち、一部が活用されているものの、校舎の利活用が検討されないままである。また、築川地域は高齢化が進行し、耕作放棄地が目立って増えてきている。そこで、地域の耕作放棄地等を活用したファームステイを立ち上げ、旧川目小学校の校舎を拠点施設(簡易宿泊所)として整備し、活用できないかご指導をお願いしたい。</p> <p>近年、インバウンド(外国人観光客)は日本の暮らしぶりや文化体験を求めて地方を訪れている。交流人口を増やす地域活性化策の一つとして検討を願う。</p> <p>(鑪山町内会)</p>	<p>旧川目小学校につきましては、「盛岡市公共施設保有最適化・長寿命化中期計画」に基づき「譲渡」することになっており、活用方法を募っているところであります。</p> <p>現在は、「譲渡」までの間、屋内運動場を「岩手県体操協会」に貸し出しており、校舎は、「市の施設の大規模改修」のための備品の保管場所として使用しているところであります。</p> <p>なお、東側の校舎は、耐震診断の結果、耐震補強が必要とされているところであります。</p> <p>耕作放棄地等への対策としましては、平成29年度に、盛岡市農業再生協議会の耕作放棄地再生利用緊急対策事業を実施し、川目地区の48アールの荒廃農地を耕起、土壌改良するなどの事業を実施したところであり、引き続き、同事業を通じて荒廃農地の再生利用を図ってまいりたいと存じます。</p> <p>また、7月1日付けで築川地区の地域おこし協力隊員が1名着任しました。着任後は、築川地域におけるコミュニティづくり、地域づくりの再構築のほか、築川ダム完成を見据えた旧国道106号周辺の活性化、新たなライフスタイルの構築を目標に活動してもらう予定としております。</p> <p>ファームステイにつきましては、生産者と地域の御協力が不可欠であると認識しておりますので、今後、地域の皆様の御意見をお聴きしながら、耕作放棄地の活用やファームステイの可能性等の検討に取り組んでまいりたいと存じます。</p>	<p>教育委員会 総務課</p> <p>農林部 農政課</p>